

地域で輝く

★女性たち★

～女性の力で県央地域を元気に！～



男女共同参画県央地域活動促進会議では

男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる

「男女共同参画社会」の実現へ向けて、様々な取り組みを行なっています。

このリーフレットは、地域で頑張っている女性を紹介することにより、

女性の活躍の後押しができればいいなという思いを込めました。



【川棚町】

大津 かおりさん

- ・ 出身：佐賀市
- ・ 職業：bliss of ring
ドーナツ代表
- ・ 長崎ふるさと
物産まつりへの参加

「やらなきゃもったいないよ!」という家族の応援に後押しされ、ドーナツのお店を開き、3年になります。揚げドーナツの製作は一人作業で、深夜からノンストップで朝までかかります。ここ半年は、焼きドーナツの製作に力を入れており、長崎の食材を使った製品作りも研究しています。また、川棚町の活性のため、イベント参加やワークショップ開催、婚活などにも協力していきたいと考えています。

私は、男女共同参画について、性別の区切りではなく、個々の才能を活かせる社会の実現を願っています。微力ながら、その才能を発揮できる場を作ろうと、店舗には雑貨コーナーを設け、棚貸しをしています。現在は、長男が巣立ち、主人も娘も家事に協力してくれるおかげで、仕事に専念することができています。



【川棚町】

西 美紀さん

- ・ 出身：川棚町
- ・ 職業：陶芸家、画家
- ・ 全国各地百貨店、
ギャラリーで個展など
多数開催

家族が陶芸家ということもあって、幼少の頃から自宅の工房が遊び場となり、陶芸の道に進んだのは、自然の流れでした。現在は、個展や弟たちが立ち上げた「ふたごモグラのお店」を当初からサポートしており、川棚に新しい風が吹き込むよう願っています。

男女共同参画について、個々の良いものを互いに認め合い、男性は男性の良さ、女性は女性の良さをアプローチしていくことが大切だと思います。陶芸の世界は、男性が家業を継ぐ、男性がするべきものの概念が多く、作家活動と、結婚・子育ての両立は活動に制限がかかるので、男性よりなかなか難しいと感じています。新たに挑戦するときは、何事も失敗してもそれがまた原動力になるので、情熱を忘れず、楽しみながら取り組みたいです。



【波佐見町】

中尾 和代さん

- ・ 出身：波佐見町
- ・ 職業：カイロプラクティック
- ・ 町女性消防団
- ・ 地域イベントへの参加

私は、家族が体調を崩したことがきっかけで、カイロプラクティックの資格を取り開業しました。次第に利用していただく方も増えていき、今では町外へ出張施術に呼ばれるようにもなりました。

男女共同参画ということについてですが、今はまだまだ男社会のように感じています。女性の社長さん達もたくさんいらっしゃいますが、なかなか前へ出てこられません。そういった面では、まだまだ女性の意識が低いのではないかと感じています。

男性向きの仕事と思われているものでも、やってみると女性の方が向いていると感じられるものもあると思います。何事も楽しんで、地域イベントへの参加など、外へ出ることも大切だと思っています。特に私の様な個人で開業した者にとって、地域活動への参加が自分の事(仕事)を知ってもらい、きっかけとなったとも感じています。これからの女性は、たくましくないとだめですよ。



【波佐見町】

松尾 道代さん

- ・ 出身：波佐見町
- ・ 職業：陶芸家
- ・ 町スポーツ推進委員
- ・ 町議会議員

私は約20年前、子育てがひと段落してからろくろの修行をはじめ、現在に至っています。祖父がろくろ師だったので、わたしが陶芸へ興味を持ちその道へ進んだことは、その血が関係しているのではないかと感じています。

男女共同参画とは、男女それぞれが尊敬し合って、特性を活かして生活・仕事をしていくことだと思います。男女共同参画社会の実現には、まず女性の地位向上が必要だと感じ、特に経済的自立が必要で、そのためのバックアップ体制の整備が望まれます。女性の雇用が進むことで、男性の仕事がスピードアップした(早く家庭へ帰れるようになった)企業などもあると聞きます。そういったワークライフバランスの実現の為に、今後益々、多くの女性の活躍を期待します。



【東彼杵町】

大山 英子 さん

- ・ 出身：東彼杵町
- ・ 職業：大山製茶園
- ・ 日本茶インストラクター
- ・ 茶育指導士

少しでも多くの子供たちに急須で淹れたお茶になじんでもらうため、日本茶インストラクターとして、町内の学校でお茶の淹れ方教室を開催しています。今の子供たちは緑茶をほとんど飲まないから、初めは苦い渋いといいますが、お菓子と一緒に何度も飲ませると、だんだんおいしいという声が聞こえてきます。お茶のおいしさが十分に伝わったかどうかは分からないけど、地道に活動していくことが大事だと思い日々頑張っています。

現在は私たちの時代と違い、男女平等。男性がお茶を淹れるのも当たり前で、大人の方へお茶の淹れ方教室を行うと、男性の方が興味を持って聞いてくれることが多いです。逆に女性だって頑張れば何でもできます。にこにこして前向きに行動すれば必ずいいことがかえってくるから、一緒に頑張りましょう。



【東彼杵町】

澤登 舞 さん

- ・ 出身：茨城県
- ・ 職業：スマイルクローバー
- ・ 地域イベントの開催

私は2011年の震災後、疎開者の受け入れをしていた東彼杵町へ滞在し、町民の暖かさに触れ良い町だということを実感し、この地に移り住むことを決めました。

放射能汚染から逃げてきてから、関東に住んでいる人達に安心安全な食べ物を送りたいと思い、スマイルクローバーとして東彼杵や九州の食べ物を関東へ送る、買い物代行をしています。

移り住んで感じたことは、男性と女性の役割分担がはっきりしていることです。それは家庭内や地域活動などでみられます。さまざまな活動の中で男女の交流が活発化すれば、今以上の相乗効果が生まれ地域が活性化するのではないかと思います。そしてスマイルクローバーの活動で東彼杵や九州をPRできればいいなと思っています。

【お問い合わせ】

東彼杵町役場 まちづくり課 〒859-3808長崎県東彼杵郡東彼杵町蔵本郷1850-6 電話：0957-46-1111(16)

編集／発行：男女共同参画県央地域活動促進会議（諫早市・大村市・川棚町・波佐見町・東彼杵町）